学校番号	3001

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	造園技術	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	造園施工必携（日本造園組合連合会）						

1　担当者からのメッセージ

造園に関するより高度な技術や知識を身に付けるためのステップとして、造園技能検定の合格基準に達する技術・知識の習得を自らの課題として主体的に取り組んでいきましょう。学習形態は技術を学ぶ実習になります。本科目では初級技術となる３級技能士検定合格基準に達する技術・知識の習得をめざし、２学期以降は３年次に受験できる中級技術となる２級造園技能士合格基準に達する技術・知識の習得へのステップアップをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
国家資格である造園技能士検定の学習を通じて、造園に関する基礎的・基本的な技術・知識を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
造園技術者として造園現場で必要な造園に関する材料・技術を基に、施工作業に携わるものとして適切に判断し、行動できる創造的な能力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】
資格に関する技術・知識の習得を通じて、課題や問題に自主的・主体的に取り組み、これを解決しながら目標を達成する意欲・態度を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技術	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する技術・知識を持って造園に主体的に取組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する材料・技術を基に、施工作業に携わるものとして適切に判断し、行動できる創造的な能力を身に付けている。	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する材料・技術を身に付け、与えられた課題の解決にむけ諸作業を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
評価方法	実習活動の観察（技術習得） 実習のまとめノート	実習活動の観察（技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察（技術習得）
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知 a	思 b	主 c
1学期	初級造園施工技術（実習）	各種造園材料・施工技術・管理技術 関連法規・安全衛生・ 作業地造成 地割・位置出し 竹垣施工 敷石施工 縁石施工 植栽施工	a: 造園全般に関する体系的な知識を持ち、現場で適切に対応する姿が見られる。造園施工に関する基礎基本的技術を身につけ、状況を判断して課題を完成できる技能が身についている。 b:与えられた課題を解決するために必要な情報を収集し、有用な情報を選択し、活用している。 c: 造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	実習活動の観察 実習のまとめノート	実習活動の観察 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察
2学期	中級造園基礎技術（実習）	各種造園材料・施工技術・管理技術 関連法規・安全衛生・ 作業地造成 地割・位置出し 竹垣施工 敷石施工 縁石施工 植栽施工	a:造園施工に関する中程度の技術を身につけ、状況を判断して課題を完成できる技能が身についている。造園に関する体系的な中程度の知識を持ち、現場で適切に対応する姿が見られる。 b:与えられた課題を解決するために必要な中程度の情報を収集し、有用な情報を選択し、活用している。 c: 造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	実習活動の観察 実習のまとめノート	実習活動の観察 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察
3学期	中級造園基礎技術（実習）	各種造園材料・施工技術・管理技術 関連法規・安全衛生・ 作業地造成 地割・位置出し 竹垣施工 敷石施工 縁石施工 植栽施工	a:造園施工に関する中程度の技術を身につけ、状況を判断して課題を完成できる技能が身についている。造園に関する体系的な中程度の知識を持ち、現場で適切に対応する姿が見られる。 b:与えられた課題を解決するために必要な中程度の情報を収集し、有用な情報を選択し、活用している。 c:造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	実習活動の観察 実習のまとめノート	実習活動の観察 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察

※表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度